

(府政記者室、教育記者室同時資料配付)

癒しのところ  
今こそ  
文化の  
底●力

平成23年7月29日  
第26回国文化祭京都府実行委員会  
(事務局：京都府国民文化祭推進局075-414-4278)

## 第26回国文化祭・京都2011リレーシンポジウム 「ところを整える」セッション4 の開催について

京都国文祭の基本構想起草委員長の<sup>わしだきよかず</sup>鷺田清一さんと一緒に、京都国文祭のテーマである「ところを整える～文化<sup>ほつしん</sup>発心」を考えるリレーシンポジウムを下記のとおり開催します。

昨年秋に京都市からスタートしたりレーシンポジウムは、3月けいはんな学研都市、5月綾部市と府内を回り、第4回となる今回は、再び京都市に戻ってきます。  
東日本大震災では、多くの人々の心が傷つきながらも、立ち直りはじめています。その背景には、「やさしさ」や「他者への思いやり」といった日本人の持つ「ところのつながり」を大切に考える考え方があるのではないのでしょうか。  
大震災でところのあり方が問われる中、日本文化の伝統が息づく京都から、日本人のところと人々のつながり、そして文化について話し合います。

### 記

- 1 名称 第26回国文化祭・京都2011リレーシンポジウム「ところを整える」セッション4  
(テーマ)文化はところをつなぐ
- 2 日時 平成23年9月4日(日) 13:30～16:30
- 3 場所 金剛能楽堂(京都市上京区烏丸通中立売上ル) 電話:075-441-7222
- 4 内容

#### 基調講演

演題「東日本大震災と日本文化」(仮題)

<sup>わしだ きよかず</sup>鷺田 清一氏[京都国文祭基本構想起草委員長]

#### パネルディスカッション

パネリスト <sup>やまくち とみぞう</sup>山口 富蔵氏(京菓子司・未富社長)

<sup>れいぜい きみこ</sup>冷泉 貴実子氏[京都国文祭特別顧問](冷泉家時雨亭文庫常務理事)

<sup>いのうえ しょういち</sup>ロバート・キャンベル氏(日本文学者・東京大学教授)

井上 章一氏(国際日本文化研究センター教授)



鷺田 清一氏 山口 富蔵氏 冷泉貴実子氏 ロバート・キャンベル氏 井上 章一氏

- 5 定員 400名(事前申込・先着順) 入場無料
- 6 申込み 問合せ 「京都府総合窓口」 電話(075-411-5000)  
FAX(075-411-5001)  
申込みは、住所、氏名、電話番号(FAX番号)、人数を明記  
または、京都国文祭のホームページ(<http://kokubunsai-kyoto2011.jp/>)から
- 7 主催 文化庁、京都府、京都府教育委員会、第26回国文化祭京都府実行委員会



(参考)

リレーシンポジウム「**こころを整える**」は、第26回国民文化祭・京都2011(京都国文祭)のテーマである「**こころを整える～文化発心<sup>ほっしん</sup>**」について考えるシンポジウムで、京都国文祭の1年前から5回にわたって開催します。

- セッション1：平成22年10月31日(日) 京都会館(1年前フェスティバルの中で実施)  
テーマ：**こころを整える～文化の基本形って何だ?**
- セッション2：平成23年3月5日(土) けいはんなプラザ[けいはんな学研都市・精華町]  
テーマ：**文化が動く～進取の気風を世界へ**
- セッション3：5月28日(土) 京都府総合教育センター北部研修所[綾部市]  
テーマ：**おもてなしのこころから～未来につなぐ文化**
- セッション4：9月4日(日) 金剛能楽堂[京都市上京区]  
テーマ：**文化はこころをつなぐ**
- ファイナルセッション：11月6日(日) 京都会館(総合閉会式の中で実施)  
テーマ：**提言・京都から世界へ**

— 京都国文祭のテーマ「**こころを整える～文化発心<sup>ほっしん</sup>**」について —

日本には、日々折り目正しくあろうとして育んできた大切な伝統があり、深い精神性が込められた文化があります。また、様々な交流の中で創造性あふれる豊かな文化を生み出してきた気概があります。

そのような日本人の「こころ」が、隅々まで息づくここ京都で、日本文化の良さを改めて見つめ直す中から、来るべき時代を生き抜いていく知恵と新たなライフスタイルを創造していこうとの気持ちを込め、「こころを整える～文化発心(ほっしん)」をテーマとしました。

